Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

News Letter to Arts Crew

5月号—No.265
2017.4.25
（毎月1回25日発行）

【織部（おりべ）】焼き物の青織部のような深みのある暗緑色。

色名の由来は文字通り織部焼き。織部焼は千利休の弟子だった大名茶人の古田織部が美濃国で焼かせた焼き物。自然を象徴する青緑の釉薬を用いた青織部、深い緑色を再現しようとした青織部の他、黒織部、赤織部、志野織部がある。

●目次／*contents*

今月のニュース……2

一般財団法人地域創造
　平成29年度 事業紹介・事業スケジュール
　平成29年度 事業計画
　平成29年度 助成決定／助成事業一覧

財団からのお知らせ……9

平成30年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集／平成30年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」実施団体募集／平成28年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」終了報告／平成30年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」実施団体募集／平成30・31年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」登録アーティスト紹介

今月の情報……12

地域通信

今月のレポート……16

栃木県宇都宮市　宇都宮美術館「石の街うつのみや—大谷石をめぐる近代建築と地域文化」

発行元：一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル9F
Tel. 03-5573-4066　Fax. 03-5573-4060
URL: http://www.jafra.or.jp/

平成29年度 地域創造 事業紹介

一般財団法人地域創造の平成29年度の事業計画が決定しました(P.4参照)。今年度も文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを図るため、以下のような事業を実施してまいります。今後ともより一層のご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

●研修交流事業

公立ホール・劇場の職員や自治体の文化担当職員の方々を対象とした研修事業「ステージラボ」を、今年度は7月に高知県立美術館、来年2月に横浜みなとみらいホールという多彩な取り組みを行っている2つの施設を会場に実施します。公立美術館の職員等を対象としたオーダーメイド型の「公立美術館地域展開型研修事業」は、札幌芸術の森美術館と熊本県立美術館を会場に各館数回ずつ実施します。

また、市町村長および文化行政担当幹部職員を対象とした「市町村長セミナー」(4月・千葉市、5月・大津市)、「文化政策幹部セミナー」(今年秋を予定)を実施し、地域における文化・芸術活動についての理解を深めていただきます。

演劇の手法を使ったワークショッププログラムを行う「リージョナルシアター事業」は、8団体で実施し、それぞれの地域の課題に取り組みます。

●公共ホール等活性化支援事業

「公共ホール音楽活性化事業」(通称:おんかつ)は、今年度は18団体で実施します。おんかつ経験館が自主的に取り組む企画を支援する「おんかつ支援事業」には18団体、「文化庁連携事業」には7団体が参加します。また、普及啓発プログラムでは、都道府県が県内の市町村と連携し、アウトリーチ事業を普及することを目的に開催している「アウトリーチフォーラム」については、2か年度事業の2年目を迎える愛知県で市町村公演を、1年目の鹿児島県でシンポジウムを実施するほか、政令市がアウトリーチ事業に関する課題に取り組む「アウトリーチセミナー事業」を新潟市で実施します。

「公共ホール現代ダンス活性化事業」(通称:ダン活)は、今年度から新たにリニューアルしたプログラム[Aプログラム(地域交流プログラム)、Bプログラム(市民参加作品創作プログラム)、Cプログラム(公演プログラム)]を14団体で実施します。また、ダン活経験館が自主的に取り組む企画を支援する「ダン活支援事業」には4団体が参加します。

複数の公共ホールが共同・連携して演劇作品の上演を行う「公共ホール演劇ネットワーク事業」は、7月から9月にかけて6団体で実施します。

「邦楽地域活性化事業」は熊本県で開催。県内3市で地域交流プログラムを展開します。

公立美術館活性化事業のうち「公立美術館共同巡回展開催助成事業」では、2か年プログラムの「日本画山脈　再生と革新～逆襲の最前線」展が4月より新見市、唐津市、呉市、八幡浜市、単年度プログラムの「三百六十度の世界　松本哲男展」が7月より北茨城市、天童市、高崎市を巡回します。

助成プログラムのうち、「地域の文化・芸術活動助成事業」では、創造・連携・研修など4つのプログラムで、計128事業、156団体に対し助成します。

また、「地域伝統芸能等保存事業」では、地方フェスティバル事業、映像記録保存事業、保存・継承活動支援事業の3事業で、計34団体に対し助成します(本紙P.5に詳しく紹介しています)。

●調査研究事業

平成29年度は、「公立文化施設に係る管理運営体制の状況について(仮)」を実施します。アンケート調査による事例収集、現地調査のほか、専門家からの意見聴取等を行い、その成果を取りまとめます。

●地域創造フェスティバル／地域伝統芸能まつり

今年の「地域創造フェスティバル」は、東京芸術劇場で8月に開催します。おんかつ支援、ダン活の登録アーティストによるプレゼンテー

ションのほか、シンポジウムやセミナーを開催します。

また、今年で18回目を迎える「地域伝統芸能まつり」は2月にNHKホールで開催します。日本各地で脈々と受け継がれている地域伝統芸能と古典芸能を一堂に会して紹介する貴重な機会です。

研修交流事業および公共ホール等活性化支援事業につきましては、下記のスケジュールもご参照ください。また各事業の詳細は、適宜、本紙「財団のお知らせ」および当財団ウェブサイトで告知しますので、併せてご活用ください。

平成29年度 一般財団法人地域創造事業スケジュール

	公共ホール・公立美術館活性化事業／研修交流事業　等	要綱発行・募集
4月	●29年度 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト公開プレゼンテーション(HAKUJUホール／18日) ●市町村長セミナー（市町村アカデミー／24日、25日） ●公共ホール音楽活性化支援事業開始(全国18カ所／～2018年3月) ●28・29年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業開始(愛知県／～2月) ●28・29年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業「日本画山脈　再生と革新～逆襲の最前線」展開始(全国4カ所／～11月)	●ステージラボ高知セッション参加者募集 ●30年度 公共ホール現代ダンス活性化事業実施団体募集 ●30年度 リージョナルシアター事業実施団体募集 ●30年度 公共ホール演劇ネットワーク事業代表団体・参加団体募集
5月	●市町村長セミナー（国際文化アカデミー／18日） ●政令指定都市アウトリーチセミナー事業開始(新潟市／～7月)(予定) ●29年度 公共ホール音楽活性化文化庁連携事業開始(全国7カ所／～2018年2月) ●29年度 公共ホール現代ダンス活性化事業開始(全国14カ所／～2018年2月)	
6月	●29年度 リージョナルシアター事業開始(全国8カ所／～2018年2月)	●29年度 地域創造大賞募集 ●「公立美術館共同巡回展開催助成事業」(30・31年度2か年プログラム、30年度単年度プログラム)募集 ●30・31年度「市町村立美術館活性化事業」参加館募集 ●30年度「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」募集 ●30年度「公立美術館共同巡回展企画支援事業」募集 ●29年度 文化政策幹部セミナー参加者募集(予定) ●29年度 ステージラボ「公立ホール・劇場マネージャーコース」参加者募集(予定)
7月	●ステージラボ高知セッション(高知県立美術館／4日～7日) ●30年度 公共ホール現代ダンス活性化事業全体研修会(東京芸術劇場／31日～8月2日) ●29年度 公共ホール演劇ネットワーク事業開始(全国6カ所／～9月) ●29年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業「三百六十度の世界　松本哲男展」開始(全国3カ所／～2018年1月)	●30年度 邦楽地域活性化事業実施団体募集 ●30年度 公共ホール音楽活性化事業実施団体募集 ●30・31年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業実施団体募集 ●30年度 公共ホール音楽活性化支援事業実施団体募集 ●30年度 公共ホール音楽活性化支援文化庁連携事業実施団体募集 ●30年度 政令指定都市アウトリーチセミナー事業実施団体募集 ●29年度 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト実地研修実施団体募集 ●30年度 地域の文化・芸術活動助成事業／地域伝統芸能等保存事業助成団体募集
8月	●地域創造フェスティバル(東京芸術劇場／1日～3日) ●29年度 邦楽地域活性化事業開始(熊本県／～2018年2月)(予定)	
9月	●29年度 公共ホール音楽活性化事業開始(全国18カ所／～2018年3月)(予定)	●30年度 公共ホール現代ダンス活性化支援事業実施団体募集
10月	●雑誌「地域創造」第42号発行(25日) ●29年度 文化政策幹部セミナー（地域創造／日程調整中） ●29年度 ステージラボ「公立ホール・劇場マネージャーコース」(地域創造／日程調整中)	●ステージラボ横浜セッション参加者募集 ●29・30年度 公立美術館地域展開型研修事業実施館募集
1月	●29年度 地域創造大賞表彰式(都内／中旬)	
2月	●第18回「地域伝統芸能まつり」(NHKホール) ●ステージラボ横浜セッション(横浜みなとみらいホール／20日～23日)	
3月	●雑誌「地域創造」第43号発行(25日)	

平成29年度 地域創造メンバー

※4桁の数字は、03-5573に続く番号です

●顧問
森　繁一（もり・しげいち）　4050
●会長
遠藤安彦（えんどう・やすひこ）　4050
●理事長
板倉敏和（いたくら・としかず）　4050
●常務理事
石川善朗（いしかわ・よしろう）　4050
●監事
齋藤裕人（さいとう・ひろと）　4050
●事務局長（芸術環境部長事務取扱）
田中敦仁（たなか・あつひと）　4061

●総務部
◎総務部長（振興助成課長事務取扱）
吉野和久（よしの・かずひさ）　4051
◎総務課長（事業課長）
横山　繁（よこやま・しげる）　4052
◎総務課
岡村　毅（おかむら・たけし）　4173
大堀洋子（おおほり・ようこ）　4050
米田裕子（よねだ・ひろこ）　4072
岩﨑百代（いわさき・ももよ）　4065
長谷川美奈子（はせがわ・みなこ）　4058
◎助成・表彰担当
岩藤容子（いわとう・ようこ）　4164
◎伝統芸能担当
山居美帆（やまずい・みほ）　4056
◎美術担当
吉崎元章（よしざき・もとあき）　4053
高野英江（たかの・はなえ）　4143

●芸術環境部
◎企画課長
佐倉　誠（さくら・まこと）　4063
◎人材育成・調査研究・情報発信担当
宇野加奈子（うの・かなこ）　4066
梅田知孝（うめだ・ともたか）　4068
高澤佑貴（たかさわ・ゆうき）　4093
◎音楽担当
菊地俊孝（きくち・としたか）　4064
三浦文恵（みうら・ふみえ）　4078
[邦]阿比留ひろみ（あびる・ひろみ）　4069
工藤　茂（くどう・しげる）　4185
米山沙里（よねやま・さり）　4059
◎ダンス担当
■栗林礼也（くりばやし・ゆきや）　4055
鈴江真由子（すずえ・まゆこ）　4077
江坂秀晃（えさか・ひであき）　4073
佐藤康平（さとう・こうへい）　4075
◎演劇担当
■水上俊秀（みずかみ・としひで）　4079
上木香奈（うえき・かな）　4076
戸舘正史（とだて・まさふみ）　4124
◎プロデューサー
津村　卓（つむら・たかし）　4062
児玉　真（こだま・しん）　4168

■…ディレクター
[邦]…邦楽担当

●平成29年度 一般財団法人地域創造事業計画

Ⅰ　事業の目的

地域住民が良質な文化・芸術を創造し、享受することができるようなゆとりと潤いに満ちた健やかな地域社会の実現に資するため、地方公共団体との緊密な連携の下に、地域における創造的な文化・芸術活動のための環境づくり等に資する事業等を行い、もって美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的とする。

Ⅱ　事業の内容

平成29年度において、次の事業を実施する。

1. 研修交流事業

地域の文化・芸術環境づくりに取り組む公共ホール、劇場、美術館等の職員及び地方公共団体の職員等を対象とした研修交流事業を次のとおり実施する。

(1)ステージラボ

事業の企画制作能力等の向上を図るため、地域の公共ホール・劇場及び文化・芸術に携わる地方公共団体の職員を対象とした研修「ステージラボ」を実施する。

(2)公立美術館地域展開型研修事業

実践的な運営能力の向上及び公立美術館の相互交流の促進を図るため、公立美術館の職員等を対象に、現場の要望に沿ったオーダーメイドによる出前型研修を実施する。

(3)文化政策セミナー

地域における文化・芸術活動についての理解を深めるため、市町村長及び地方公共団体の文化行政担当幹部職員を対象にセミナー等を実施する。

(4)都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議

文化・芸術振興等についての理解を深め、地域創造と各地方公共団体との連携を一層強化するため、都道府県及び政令指定都市の文化行政担当課長等を対象に意見交換等を実施する。

(5)リージョナルシアター事業

地域交流プログラム(※)の実施に必要な基礎知識と共通認識の習得及び地域に根ざした企画能力等の向上を図るため、研修会を実施後、公共ホールに派遣した演劇の表現者とともに公共ホールの職員が地域に応じたプログラムを企画、検討し、地域で演劇の手法を活用したワークショップを実施する。

※地域交流プログラム…学校に出向いてのアウトリーチや公共ホールでの公募型ワークショップなどを通じて、地域住民との交流を図る取り組み。

2. 公共ホール等活性化支援事業

(1)公共ホール音楽活性化事業

地域においてクラシック音楽を身近なものとすることにより地域文化の活性化を図るとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高める人材育成に資するため、公演や地域交流プログラムを実施する。

①通常プログラム

市町村との共催により、クラシック音楽に触れる機会の少ない地域にアウトリーチコンサート等を提供し、公共ホールの担当者がアウトリーチの企画・制作に必要な実践的なノウハウを修得することを目的として、研修会、クラシック音楽と身近にふれあうコンサート及び地域交流プログラムを実施する。

②-1 支援プログラム

(助成率：1年目2/3以内、2年目：1/3以内)

通常プログラムを実施した市町村がそのノウハウを活用して引き続き実施するクラシック音楽と身近にふれあうコンサート及び地域交流プログラムに対して支援を行う。

-2 文化庁連携事業

(助成率：1年目8/10以内、2年目2/3以内、3年目：1/2以内)

音楽分野における、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」の助成を受けて「アウトリーチ事業」を実施する学校と、地域創造の「音楽活性化支援事業」の実施経験がある公共ホールが連携することにより、これまでのノウハウを活かした効果的なアウトリーチを実施する。また、公共ホールの一層の活性化を図るため、「公演事業」に対して支援を行う。

③普及啓発プログラム

都道府県等と連携し、実施ホールの企画・制作担当者や派遣演奏家等を対象とした研修事業及びクラシック音楽と身近にふれあうコンサートと地域交流プログラムを組み合わせた市町村での公演事業等を実施する(アウトリーチフォーラム)。また、政令指定都市との連携により、人材育成・研修に重点を置いたプログラム(アウトリーチセミナー)を実施する。

(2)公共ホール現代ダンス活性化事業

地域において現代ダンスを身近なものとすることにより地域文化の活性化を図るとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高める人材育成に資するため、公演や地域交流プログラムを実施する。

①通常プログラム

地方公共団体等との共催により、現代ダンスに触れる機会の少ない地域にダンス公演等を提供し、公共ホールの担当者がアウトリーチの企画・制作に必要な実践的なノウハウを修得することを目的として、研修会、現代ダンスの公演及び地域交流プログラムを発展的・継続的に実施する(最大3年間)。

②支援プログラム

(助成率：1年目2/3以内、2年目：1/3以内)

通常プログラムを実施した市町村がそのノウハウを活用して引き続き実施する現代ダンスの公演及び地域交流プログラムに対して支援を行う。

(3)公共ホール演劇ネットワーク事業(助成率：2/3以内)

公共ホールの情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における環境づくりを通じて創造性豊かな地域づくりに資するため、複数の公共ホールが共同・連携して実施する演劇公演及び演劇の手法を活用した地域交流プログラムに対して支援を行う。

(4)邦楽地域活性化事業

日本の伝統音楽の継承・発展、都道府県域内の公共ホールの連携促進や職員の企画・制作能力の向上を図るため、公共ホールの担当者、参加演奏家等を対象とした研修プログラム、公共ホールを拠点とした邦楽による地域交流プログラム及び公演を実施する。

(5)公立美術館活性化事業

公立美術館の企画制作能力の向上、連携の促進、所蔵作品の利活用等を図るため、共同巡回展の実施を支援する。

①市町村立美術館活性化事業

(助成率：準備年度1/1以内、開催年度2/3以内)

地域創造が提示する企画に基づいて複数の市町村立美術館が実施する共同巡回展に対して支援を行うもので、平成29年度は、平成30年度開催の共同巡回展の準備への支援を行う。

②公立美術館共同巡回展開催助成事業

-1　2か年プログラム

(助成率：準備年度・開催年度共2/3以内)

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、公立美術館の所蔵作品等を活用した共同巡回展の準備及び実施に係る経費に対して助成を行う。

-2　単年度プログラム(助成率：2/3以内)

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、公立美術館の所蔵作品等を活用した共同巡回展の実施に係る経費のうち、作品借用・展示に係る経費、または共同巡回展カタログ作成に係る経費に対して助成を行う。

(6)地域の文化・芸術活動助成事業

地方公共団体等が地域において自主的に実施する文化・芸術活動を支援するため、各プログラムの事業に対して助成を行う。

①創造プログラム(助成率：1/2以内)

地域の活性化に寄与する長期的展望を有し、発展的・継続的に事業を実施するうえで他の地域の参考となるような顕著な工夫が認められる事業(一般分)や都道府県・政令指定都市が自主事業の企画制作能力の更なる向上や周辺地域の公立文化施設に波及効果をもたらす事業(企画制作力向上特別分)

②連携プログラム(助成率：2/3以内)

単独では実施できないが、複数の団体が連携することにより初めて実施できるもので、3以上の地方公共団体等が連携して共同で制作する公演・展覧会のうち、地域交流プログラムを伴う事業

③研修プログラム(助成率：2/3以内)

公立文化施設等の企画・運営に携わる者及び地域文化コーディネーター等、地域の文化・芸術活動を担う者のスキルの向上、ノウハウの習得等を目指し、地方公共団体等が自ら主体的に企画・実施する実践的な人材育成事業

④公立文化施設活性化計画プログラム(助成率：2/3以内)

公立文化施設の利活用の推進を図るための計画を策定する事業

(7)先進的アウトリーチ等に係るモデル事業

(助成率：1/2以内)

教育、福祉、経済等の様々な行政分野への活用が期待される、アーティストによるアウトリーチ的手法等を研究・発展させるため、公共ホールが行う先進的なアウトリーチ等の活動に対してモデル的に支援する。

3. 情報交流・調査研究等事業

(1)情報交流事業

定期刊行物やホームページ等により、地域の文化・芸術活動に資する情報提供を行う。

①ニュースレター発行事業

地域創造と各地域の公立文化施設、制作者等の文化・芸術関係者とをつなぐ基本的な媒体として、各地域のユニークな公演・展示の情報や参考となる各地の取組事例、地域創造の事業のお知らせ等を掲載した「地域創造レター」を毎月発行する。

②雑誌発行事業

文化・芸術環境づくりのケーススタディーや公立文化施設の有効な運営方法を模索する企画記事等を内容とする雑誌「地域創造」を年2回発行する。

③各種情報提供事業

ホームページの運営を通じ、地域創造及び公立文化施設に関する各種情報や、定期刊行物に掲載した地域の文化・芸術に関する情報等を蓄積し、提供を行う。

(2)調査研究事業

地域の文化・芸術環境づくりについて全国的な視点から実態調査・分析・研究を行い、それらの成果を積極的に活用して、関係者からの相談等への対応を行う。

(3)コンサルティング事業

地方公共団体からの文化・芸術の振興による地域づくりに関する相談等に応じる。

(4)表彰事業

地域における文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに特に功績のあった公立文化施設に対し、「地域創造大賞(総務大臣賞)」を授与し、表彰する。

4. 地域伝統芸能等保存事業

ふるさとづくりに向けた地域住民の取組や地方公共団体の文化環境づくりに資するため、地域の伝統芸能等(祭り、伝説、神話、民話、習俗等)の映像への記録・保存・収蔵、地域の伝統芸能等の継承活動の成果を発表するための公演の開催に対する助成等を行う。

(1)フェスティバル事業

①全国フェスティバル事業

地域伝統芸能等の保存・継承に関する国民的機運の盛り上げを図るため、「地域伝統芸能まつり」を開催する。

②地方フェスティバル事業(助成率：1/2以内)

地域固有の伝統芸能等を保存・承継するための公演事業を行う地方公共団体等に対し助成する。

(2)映像記録保存事業

①地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業

映像記録保存事業により作成された映像等をデジタルコンテンツ化し、インターネットで発信する「地域文化資産ポータルサイト」を運営する。

②映像記録保存事業(助成率：2/3以内)

各地域で失われつつあり、これまで記録に残されてこなかった伝統芸能等をDVDビデオ映像等に記録・保存する市区町村に対して助成を行う。また、地域創造に映像ライブラリーを設置し、作成された映像記録を公開する。

(3)活動団体支援事業(保存・継承活動支援事業)

(助成率：1/2以内)

地域固有の伝統芸能等の保存・継承活動を行っている団体等への支援を行っている市区町村に対して助成を行う。

平成29年度
地域創造助成決定

●平成29年度「地域の文化・芸術活動助成事業」「地域伝統芸能等保存事業」採択事業決定

平成29年度は、「地域の文化・芸術活動助成事業」、「地域伝統芸能等保存事業」の2つの助成事業について、平成28年7月下旬から9月末にかけて募集を行いました。

審査の結果、190件の採択を決定し、平成29年4月初旬に申請団体等へ助成決定の通知を送付しました。詳細は下記のとおりです。

◎地域の文化・芸術活動助成事業

自らが行い地域と積極的に関わりをもつ事業であることを重視し、これに加え、「創造プログラム(一般分)」では、複数年にわたる事業で、発展が見込まれるものであること、「創造プログラム(企画制作力向上特別分)」では、企画制作力向上に資するものであることや他施設への波及効果をもたらすものである点、「連携プログラム」では複数館の連携事業であっても各館の自主性が発揮されているかといった点、「研修プログラム」ではより実践的で職員の能力向上に繋がることなどが採択のポイントとなっています。

◎地域伝統芸能等保存事業

地域固有の伝統芸能であり、各地域でこれからの保存・継承活動に繋がる事業であることを重視しています。これに加え、「地方フェスティバル事業」では今後の継続的な活動に繋がるもの、「映像記録保存事業」では後世のために映像として記録・保存する必要があるもの、「保存・継承活動支援事業」では市区町村が積極的に支援を行っているものなどが採択のポイントとなっています。

平成29年度 助成事業等決定状況(件数)

事業名	区分	H29年度 申請	H29年度 決定 / 決定額(千円)	[参考] H28年度 申請	[参考] H28年度 決定
地域の文化・芸術活動助成事業	創造プログラム(一般分)	90	83 / 325,700	93	75
	創造プログラム(企画制作力向上特別分)	17	15 / 93,800	27	25
	連携プログラム	49	40 / 121,500	56	36
	研修プログラム	19	18 / 22,600	21	18
	活性化計画プログラム	1	0 / 0	3	2
	小計	176	156 / 563,600	200	156
地域伝統芸能等保存事業	地方フェスティバル事業	11	11 / 7,915	9	9
	映像記録保存事業	9	9 / 14,399	8	7
	保存・継承活動支援事業	15	14 / 3,264	14	13
	小計	35	34 / 25,578	31	29
合計		211	190 / 589,178	230	185

●「地域の文化・芸術活動助成事業」に関する問い合わせ
総務部　岩藤
Tel. 03-5573-4164

●「地域伝統芸能等保存事業」に関する問い合わせ
総務部　山居
Tel. 03-5573-4056

平成29年度

助成事業一覧

＊リストの見方
申請事業名以下、申請団体／実施時期（平成29年度）／事業年度の順に掲載

地域の文化・芸術活動助成事業 156件

創造プログラム（一般分） 83件

●SAPPORO DANCE REMIX
（公財）札幌市芸術文化財団／2018年2月／1年目（3年間）

●地域劇場をフル活用！ 市民参加型音楽劇創作プログラム
北海道砂川市／2018年1月／2年目（3年間）

●アンサンブルグループ奏楽コンサート～音楽と歌のシンフォニー～
北海道斜里町／2017年7月／2年目（3年間）

●演劇人育成による青森の文学の魅力発信事業
青森県／2017年11月～12月／1年目（3年間）

●市民参加型オペラ「椿姫」
岩手県久慈市／2017年8月／1年目（3年間）

●調査と表明
（公財）仙台市市民文化事業団／2017年11月～12月／2年目（3年間）

●加川広重アートプロジェクト
宮城県蔵王町／2017年9月～10月／2年目（3年間）

●舞踊・舞踏フェスティバル開催事業（石井漠・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル『踊る。秋田』）
秋田県／2017年6月～10月／2年目（3年間）

●舞踊・舞踏フェスティバル開催事業（石井漠・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル『踊る。秋田』）
秋田県秋田市／2017年6月～10月／1年目（3年間）

●足利市民会館・附属芸術団体「足利ユースオーケストラ」発足10周年記念事業《ユース×バレエ》～夢いっぱい「くるみ割り人形」全二幕～
（公財）足利市みどりと文化・スポーツ財団（栃木県）／2018年3月／1年目（2年間）

●世界ゴールド芸術祭（仮称）
（公財）埼玉県芸術文化振興財団／2017年9月～10月／1年目（3年間）

●街の魅力発見！プラザイースト演劇アカデミア
（公財）さいたま市文化振興事業団／2017年5月／2年目（3年間）

●秩父宮記念市民会館 開館記念公演 ちちぶオペラ「ミカド」開催事業
埼玉県秩父市／2017年8月／1年目（3年間）

●上尾音楽家芸術活動支援事業
埼玉県上尾市／2017年12月／2年目（3年間）

●ユースカルチャー支援事業 中・高校生のための舞台スタッフ体験講座～みんなでツクル・アイドルライブ～
（公財）千葉市文化振興財団／2017年7月～8月／1年目（3年間）

●ミュージカル
千葉県船橋市／2017年9月／3年目（3年間）

●第3回市民創作ミュージカル
千葉県鎌ヶ谷市／2017年12月／3年目（3年間）

●新井英夫「体奏」アウトリーチ・ワークショップ＆公演
（公財）君津市文化振興財団（千葉県）／2018年1月～2月／2年目（3年間）

●ミュージック・プログラム・トーキョー Music Education Program Workshop Workshop!
東京都／2017年7月～18年3月／3年目（3年間）

●新宿 フォークソングが流れる街／新宿カウンターカルチャーストーリー
（公財）新宿未来創造財団（東京都）／2017年10月／3年目（3年間）

●東日本復興支援コンサート及び関連イベント
（公財）目黒区芸術文化振興財団（東京都）／2018年3月／3年目（3年間）

●下丸子◇演劇ぷろじぇくと
（公財）大田区文化振興協会（東京都）／2017年10月／2年目（3年間）

●としま文化創造プロジェクト
東京都豊島区／2017年8月／1年目（3年間）

●区民参加型ミュージカル
東京都荒川区／2017年12月／1年目（2年間）

●SCOPE（スコープ）：せんがわ・コミュニティ・プロジェクト of 演劇
東京都調布市／2017年11月／1年目（3年間）

●小金井アートフル・アクション！芸術文化で異世代間を結ぶ事業「小金井と私 秘かな表現」
東京都小金井市／2018年2月～3月／3年目（3年間）

●KAATキッズプログラム「不思議の国のアリス」
（公財）神奈川芸術文化財団／2017年7月～8月／1年目（2年間）

●杉劇アートdeにぎわいプロジェクト
（公財）横浜市芸術文化振興財団／2017年5月～18年3月／3年目（3年間）

●おだわらリボーンシアター・劇場文化の継承事業（継続）
神奈川県小田原市／2017年8月／2年目（3年間）

●越後妻有 里山パフォーマー・イン・レジデンス
新潟県十日町市／2017年7月～18年3月／2年目（3年間）

●地域で光る文化芸術拠点の魅力・発信事業
富山県／2017年7月～18年3月／1年目（3年間）

●合唱創造となみ
（公財）砺波市花と緑と文化の財団（富山県）／2018年3月／1年目（3年間）

●コスモホール地域交流音楽プロジェクト（2年目）須川展也with サックス・バンド コンサート
（公財）入善町文化振興財団（富山県）／2017年11月／2年目（3年間）

●ベストオブアンサンブルin Kanazawa 2017 GALA（仮称）
（公財）金沢芸術創造財団（石川県）／2018年2月～3月／2年目（3年間）

●地域を牽引する「人」・「もの」・「心」創出プロジェクト「ミュージカル シンデレラ～ねずみたちのプリンセス～」
山梨県／2018年2月／2年目（2年間）

●『まつもと演劇工場』による地域文化の創造、共有および発信事業
（一財）松本市芸術文化振興財団（長野県）／2018年3月／3年目（3年間）

●「レジデント・アーティストプログラム～創造の交差点（仮称）～」
長野県上田市／2018年3月／2年目（3年間）

●たじみ de 和芸
（公財）多治見市文化振興事業団（岐阜県）／2018年2月／1年目（3年間）

●マリナート・ウインズ“響きのある街”プロジェクト
静岡市／2017年6月、18年3月／2年目（3年間）

●茶文化創造千日プロジェクト「かけがわ茶エンナーレ」
静岡県掛川市／2017年10月～11月／3年目（3年間）

● 子ども合唱アカデミー
静岡県藤枝市／2018年1月～2月／1年目（3年間）

●まんてんプロジェクト
静岡県川根本町／2017年12月／3年目（3年間）

●国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」開催事業
愛知県／2017年11月～18年2月／1年目（3年間）

●子どもアート万博
（公財）名古屋市文化振興事業団／2017年12月／1年目（3年間）

●演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト
（公財）かすがい市民文化財団（愛知県）／2018年2月／1年目（3年間）

●東海市ひとづくりパートナーシップ事業
愛知県東海市／2017年8月、18年3月／1年目（3年間）

●市民とつくる舞台芸術プロジェクト
（一財）ちりゅう芸術創造協会（愛知県）／2018年2月／1年目（3年間）

●演劇の魅力発信事業

▼—今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

愛知県武豊町／2018年1月～3月／2年目(3年間)

●亀山市ミュージカル劇団　アウトリーチ推進事業
(公財)亀山市地域社会振興会(三重県)／2017年11月／2年目(2年間)

●クラシックのいろは 2017 “街中がクラシック”
(公財)伊賀市文化都市協会(三重県)／通年／1年目(2年間)

●みんなで作ろう！ 林 光作曲 オペラ『森は生きている』
(公財)びわ湖ホール(滋賀県)／2017年5月～18年2月／2年目(3年間)

●「音楽のライフロングスタディ」シリーズ(仮)
滋賀県日野町／2017年7月～18年3月／1年目(2年間)

●NEW VISION—舞台芸術／ジェンダー／社会
京都市／2017年10月～11月／1年目(3年間)

●アートプロジェクトと地域をつなぐ地域コーディネーターとの協働に向けて(仮)
大阪市／2018年2月～3月／2年目(2年間)

●子どものための文化芸術プロジェクト事業
堺市／2017年7月～8月／1年目(2年間)

●西本智実　オペラプロジェクト
大阪府岸和田市／2018年2月／1年目(2年間)

●市民をつなぐ吹田演劇プロジェクト
(公財)吹田市文化振興事業団／(大阪府)／2017年12月、18年2月／3年目(3年間)

●枚方シティオペラ第3回公演ガラコンサート＆オペラ「蝶々夫人」ハイライト
(公財)枚方市文化国際財団(大阪府)／2017年10月／3年目(3年間)

●かわちながの世界民族音楽祭2017～奥河内音絵巻3～
(公財)河内長野市文化振興財団(大阪府)／2017年9月／3年目(3年間)

●地域の文化・芸術活動事業
大阪府能勢町／2017年6月、9月ほか／2年目(3年間)

●開港150年 神戸発！ CLASSIC PLUS
(公財)神戸市民文化振興財団／2018年2月／1年目(3年間)

●「地域とつくる舞台」シリーズ アイホールがつくる「伊丹の物語」プロジェクト
(公財)伊丹市文化振興財団(兵庫県)／2017年9月～10月／3年目(3年間)

●中・高生アートチャレンジ！
兵庫県豊岡市／2017年7月／2年目(3年間)

●次世代へつなぐ文化芸術普及事業
(公財)宝塚市文化財団(兵庫県)／2017年7月～8月／1年目(3年間)

●鳥取県文化振興財団プロデュース創作公演
(公財)鳥取県文化振興財団／2017年12月／1年目(2年間)

●再生アートプロジェクトin浜田2017
(公財)浜田市教育文化振興事業団(島根県)／2017年10月～18年1月／2年目(3年間)

●2017「広島神楽」定期公演
広島県／2017年4月～18年2月／3年目(3年間)

●演劇活性化事業
(公財)広島市文化財団／通年／2年目(2年間)

●るりゐろ絵巻
(公財)徳島県文化振興財団／2018年2月／1年目(3年間)

●「演劇に学ぶ」プログラム(仮)
(公財)高知市文化振興事業団(高知県)／2017年10月／1年目(3年間)

●YAHATA MUSIC PROJECT～音楽でつながる人とまち～
(公財)北九州市芸術文化振興財団／2017年7月／1年目(2年間)

●なみきスクエア地球舞台プロジェクト
福岡市／通年／1年目(3年間)

●SO-ONプロジェクト～“宗”“奏”“創”
(公財)宗像ユリックス(福岡県)／2018年3月／2年目(3年間)

●東京藝術大学×世界遺産・ミュージックキャンプの島づくりプロジェクト
長崎県／2017年8月～11月／2年目(3年間)

●長崎で楽しむオランダそしてコンセルトヘボウの魅力
長崎県長崎市／2017年11月／1年目(2年間)

●開館20周年記念市民ミュージカル
(一財)大村市文化・スポーツ振興財団(長崎県)／2018年2月／1年目(2年間)

●アーティスト・イン・レジデンス つなぎ
熊本県津奈木町／2017年12月～18年3月／1年目(3年間)

●大分県民ミュージカル創造推進プロジェクト
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団／2017年4月、8月、18年3月／1年目(3年間)

●豊後FUNAIミュージカル
大分県大分市／2018年3月／2年目(3年間)

●おおいたオペレッタ合唱団育成事業「瓜生島3ヵ年プロジェクトvol.3」
大分県別府市／2018年2月／3年目(3年間)

●邦楽ワークショップ「Let's 和の音♪」
(公財)宮崎県立芸術劇場／2017年7月～8月／1年目(2年間)

●県民による創作演劇「西郷どんがやってきた」
(公財)鹿児島県文化振興財団／2017年4月～12月／1年目(2年間)

●ミュージカル創出事業「尚寧王」～アオリヤエ尚寧王妃の詩～
沖縄県浦添市／2018年1月／2年目(3年間)

創造プログラム(企画制作力向上特別分)　15件

●札幌国際芸術祭2017
札幌市／2017年8月～10月

●名作映画音楽オーケストラ・コンサート
(公財)千葉県文化振興財団／2018年2月

●オープンシアター2017
(公財)神奈川芸術文化財団／2017年5月

●「文化財の保存と修復—過去・現在・そして未来へ—」
石川県／2017年4月～5月

●第5回記念 ぎふ秋の音楽祭2017～鍵盤の日
岐阜県／2017年10月～11月

●宮城聰演出　SPAC『オセロー』公演
(公財)静岡県舞台芸術センター／2018年2月～3月

●やっとかめ文化祭 ～芸どころ・旅どころ・なごや～
名古屋市／2017年10月～11月

●平成29年度 滋賀県次世代育成ユースシアター事業音楽劇「美味しいメロディ」VersionⅡ
(公財)滋賀県文化振興事業団／2017年12月

●大阪クラシック
大阪市／2017年9月

●開館5周年記念展「ヨコオ・ワールド・ツアー」
(公財)兵庫県芸術文化協会／2017年4月～8月

●『神戸国際フルート音楽祭～音楽で楽しむ開港150年～』
神戸市／2017年4月～6月

●広島市・大邱広域市姉妹都市提携20周年記念事業
広島市／2017年5月

●「美術×本＝楽しさと多様性」展(仮称)
徳島県／2017年8月～10月

●インドネシア人形劇(ペーパームーン・パペット・シアター)レジデンス＆新作公演2017
(公財)高知県文化財団／2017年6月～7月

●「旅と芸術—佐藤溪と種田山頭火」(仮題)展開催事業
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団／2018年2月～3月

連携プログラム　40件

●MUM&GYPSY/2007-2017(仮)
(公財)北海道文化財団、(公財)埼玉県芸術文化振興財団、長野県上田市、(公財)豊橋文化振興財団(愛知県)、(公財)伊丹市文化振興財団(兵庫県)／2017年7月～9月

●「ある芸術家の生涯(仮称)」
(公財)仙台市市民文化事業団、長野県上田市、愛知県豊田市、(公財)びわ湖ホール(滋賀県)、兵庫県豊岡市、島根県雲南市、(公財)北

平成29年度
助成事業一覧

九州市芸術文化振興財団／2017年9月～10月
●バットシェバ舞踊団『ラスト・ワーク』
(公財)愛知県文化振興事業団、(公財)びわ湖ホール(滋賀県)、(公財)北九州市芸術文化振興財団／2017年10月～11月
●小池博史meets宮沢賢治第一弾 新・ダンス音楽劇　注文の多い料理店2017
千葉県柏市、(公財)多摩市文化振興財団(東京都)、(公財)福井県文化振興事業団、大阪府豊中市／2017年10月～12月
●気づかいルーシー
東京都、富山県富山市、(一財)松本市芸術文化振興財団(長野県)、(公財)廿日市市文化スポーツ振興事業団(広島県)／2017年7月～8月
●カンパニーXY「まだ夜中ではない(原題)」
(公財)せたがや文化財団(東京都)、(公財)高知県文化財団、(公財)福岡市文化芸術振興財団／2017年10月
●演劇「大伴家持」北陸三都市連携公演
富山県高岡市、(公財)金沢芸術創造財団(石川県)、(公財)越前市文化振興・施設管理事業団(福井県)／2017年11月
●ala Collectionシリーズ vol.10『坂の上の家』
(一財)長野市文化芸術振興財団(長野県)、(公財)舞鶴市文化事業団(京都府)、(公財)筑後市文化振興公社(福岡県)／2017年10月
●ミラノ大聖堂聖歌隊＆真言宗声明
(公財)アクロス福岡(福岡県)、(公財)直方文化青少年協会(福岡県)、(公財)岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団(福岡県)／2017年11月
●初めてのオーケストラ！「親子コンサート」
佐賀県鹿島市、長崎県雲仙市、長崎県南島原市／2017年9月～10月
●「1980年代の日本美術」(仮)展
(公財)静岡市文化振興財団(連絡調整事業)
●めがねの美術(仮称)
島根県(連絡調整事業)

研修プログラム　18件
●シンポジウム「地域と演劇ワークショップ」
(公財)札幌市芸術文化財団／2017年8月
●キラリふじみ・リージョナルカンパニー ACT-F(アクトエフ)
(公財)キラリ財団(埼玉県)／2017年6月～18年3月
●音楽ファシリテーター養成講座
(公財)千葉市文化振興財団／2017年11月
●Technical Theatre Training Program 舞台技術講座
(公財)せたがや文化財団(東京都)／2017年5月、18年1月
●あうるすぽっと舞台芸術講座2017
(公財)としま未来文化財団(東京都)／通年
●障害者に対する意識改革・環境設備　中級編
神奈川県／2017年9月、18年2月、3月
●うえだアーツスタッフアカデミー(ダンス・舞台編)
長野県上田市／2017年10月～18年1月
●劇場普及育成事業(仮題)
長野県茅野市／2017年5月～12月
●劇場に関する人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾」
(公財)可児市文化芸術振興財団(岐阜県)／2017年5月～18年3月
●グランシップアートマネジメントセミナー2017～文化人材のネットワーク構築とアウトリーチ～
(公財)静岡県文化財団／2017年5月～7月、17年9月～18年3月
●愛知県芸術劇場　平成29年度舞台芸術人材養成ラボ
(公財)愛知県文化振興事業団／2017年6月～18年3月
●びわ湖ホール舞台技術研修～人材育成講座～
(公財)びわ湖ホール(滋賀県)／2018年3月
●美術館の「連携アウトリーチ」および「プラットフォーム化」促進事業
大阪市／2017年7月～18年2月
●アウトリーチにおけるワークショップ研究会
(公財)伊丹市文化振興財団(兵庫県)／2017年6月～18年3月
●アートスクール2017～地域文化プログラムの実践～
兵庫県豊岡市／2017年9月
●舞台専門人材育成事業「ステージテクニカルアカデミー 2017」
(公財)しまね文化振興財団(島根県)／2017年8月、18年1～2月
●平成29年度文化施設職員等研修事業 対話型鑑賞 音楽編・ダンス編
(公財)ひろしま文化振興財団(広島県)／2017年6月、18年2月
●劇場塾2017
(公財)北九州市芸術文化振興財団／2017年10月～18年3月

地域伝統芸能継承者保存事業 34件
地方フェスティバル事業　11件
●にほんまつ　伝統芸能祭
福島県二本松市
●埼玉伝統芸能フェスティバル
埼玉県
●第12回あさひのまつり
千葉県旭市
●民俗芸能inとしま
(公財)としま未来文化財団(東京都)
●かながわ伝統芸能祭「かながわ子ども民俗芸能フェスティバル」及び「かながわの地芝居」
神奈川県
●京丹後郷土芸能祭「丹後の祭り」
京都府京丹後市
●伝統文化の学びの充実事業
兵庫県
●第15回せきのみや子ども歌舞伎公演
兵庫県養父市
●吉野川市伝統芸能の祭典～地域で育てる継承者～
徳島県吉野川市
●郷土伝統芸能交流大会(仮称)
香川県直島町
●第11回都城民俗芸能祭
宮崎県都城市

映像記録保存事業　9件
●悪戸獅子踊
青森県弘前市
●島唄・島踊り／還住太鼓
東京都青ヶ島村
●町田獅子舞
埼玉県深谷市
●浅間神社の獅子舞
埼玉県東秩父村
●豊田市の花のとう(おためし)
愛知県豊田市
●白浜岩戸神楽
熊本市
●恩納の豊年祭
沖縄県恩納村
●当銘・小城龕甲25年忌祭
沖縄県八重瀬町
●組踊　忠臣護佐丸
沖縄県読谷村

保存・継承活動支援事業　14件
●岩手県北上市
●山形県鶴岡市
●栃木県那須町
●栃木県小山市
●埼玉県川越市
●東京都国立市
●東京都昭島市
●神奈川県川崎市
●神奈川県松田町
●新潟県上越市
●長野県長野市
●静岡県伊豆の国市
●愛知県犬山市
●京都府京田辺市

財団からのお知らせ

●平成30年度リージョナルシアター事業
◎派遣アーティスト
多田淳之介（演出家・俳優、東京デスロック主宰）
田上豊（劇作家・演出家、田上パル主宰）
有門正太郎（演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ代表）
福田修志（劇作家・演出家、F's Company代表）
ごまのはえ（劇作家・演出家・俳優、ニットキャップシアター代表）
◎問い合わせ
芸術環境部　戸舘・上木
Tel.03-5573-4124
※参加申込書は、当財団のウェブサイト内の「様式箱」→「リージョナルシアター事業」→からダウンロードできます。
http://www.jafra.or.jp/form_box/form/detail/category_id/13/

●平成30年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」応募方法
※代表団体は2回に分けて応募する必要があります。
◎代表団体応募
代表団体は、事業申込書および参考資料（公演企画書、作品の映像または台本）を添付して、郵送にてお送りください。
◎参加団体応募
代表団体は、事業申請書、副申書、予算書および参加意向票（代表団体が取りまとめの上）を郵送にてお送りください。
＊詳細は当財団ウェブサイトより実施要綱をご覧いただき、申込書等の様式はダウンロードしてください。
◎申し込み・問い合わせ
芸術環境部　上木・戸舘・水上
Tel. 03-5573-4076

●平成28年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」『演出家だらけの青木さん家の奥さん』（作・演出：内藤裕敬）
［会期・会場］
2016年10月22日、23日：高知市文化プラザかるぽーと
10月26日：豊中市立ローズ文化ホール
10月29日、30日：北九州芸術劇場
2017年3月4日、5日：上田市交流文化芸術センター（サントミューゼ）
3月11日：魚沼市小出郷文化会館

●平成30年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集のお知らせ

演出家や俳優（以下、派遣アーティスト）を公共ホールに最大3回派遣し、演劇の手法を使った参加体験型プログラム（以下、ワークショップ）を実施する「リージョナルシアター事業」の参加団体を募集します。

この事業では主に、学校等の施設を訪れて子どもたち等を対象にワークショップを行うアウトリーチと、多様な参加者に応じてホールでワークショップを実施します。いずれも地域のニーズやホールの目指す方向性に合わせてプログラムを自由に企画することができます。

これまでの事業では、小中学校の授業内でのアウトリーチや、演劇未経験の市民を対象に表現することの楽しさを体験する公募型ワークショップ、行政職員や教員の研修として行うワークショップ、地域で文化活動をされている方が実際にワークショップをつくっていく過程のサポートなど、プログラムは多岐にわたっています。

各地域での事業実施前には、参加団体と派遣アーティストが一堂に会した研修会を実施します。事前の打ち合わせも兼ねながら、実際にワークショップを体験することや、各地域の課題や展望を共有していきます。演劇を使った新しい取り組みへの挑戦や派遣アーティストからの新しい視点を活用したいというホールの皆様のご応募をお待ちしております。詳細は当財団ウェブサイト内の実施要綱をご覧ください。

http://www.jafra.or.jp/j/guide/independent/play05/index.php

募集締切：8月31日（木）必着

●平成30年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」実施団体募集のお知らせ

この事業は、複数の公共ホールが連携して共同で演劇公演（再演作品に限る）と地域交流プログラムを開催する事業です。本事業をご活用いただくことで、単独の公共ホールでは予算的に実施の難しい演劇公演を、複数のホールがネットワークを組むことによって負担を軽減できます。当財団が対象経費の3分の2（上限1,200万円）を助成し、各ホールが残りの経費をシェアします。また、制作ノウハウを現場体験として習得できます。さまざまな公共ホールが一堂に会し、公演実施にあたっての課題等を共有し解決していくことによって、今後のホール事業制作に役立てることができます。

平成30年度に複数の公共ホールと共に事業を実施する代表団体（公共ホール等）を募集します。代表団体の募集・選定後、30年度事業実施候補となる代表団体名と公演作品名を、当財団ウェブサイトにて公開します。参加を希望する団体（参加団体）は代表団体に直接連絡し、代表団体が参加団体を取りまとめて、当財団へ申請してください（詳細は実施要綱をご覧ください）。応募団体の中から事業の実現性、予算額、実施時期等を検討して、事業実施団体（代表団体＋参加団体）を原則1団体決定します。

・代表団体募集期間：
平成29年4月25日（火）～6月30日（金）
・参加団体申込締切：
平成29年8月18日（金）必着
※各応募・申込方法は左記データ欄をご覧ください。

●平成28年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」終了報告

複数の公共ホールが共同して演劇作品の上演とワークショップなど地域交流プログラムを実施する「公共ホール演劇ネットワーク事業」が終了しました。

平成28年度は、10月に高知市文化プラザかるぽーと、豊中市立ローズ文化ホール、北九州芸術劇場で、3月に上田市交流文化芸術センター、魚沼市小出郷文化会館の合わせて5つの公共ホールで地域交流プログラムと演劇作品『演出家だらけの青木さん家の奥さん』の上演を行いました。

参加したホールの担当者は「公演に向けての準備や注意点など、他館それぞれとの違いは非常に勉強になり、協働で実施する面白さを味わった」「市内の商工会や店舗および民間企業との協力体制を取り、店舗にポスターやチラシの設置を実施することができたことにより、地域との連携が強化できた」と事業を振り返っていました。

『演出家だらけの青木さん家の奥さん』上田市交流文化芸術センター公演　撮影：谷古宇正彦

財団からのお知らせ

●平成30年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」実施団体募集

この事業は、公共ホールを拠点として、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家のコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。

コンテンポラリーダンスがもつ自由な表現と、言葉を使わない身体によるコミュニケーションには無限の可能性があり、地域住民に向けたさまざまなアプローチが可能で、地域やホールの特性を生かしてその地域ならではの企画をつくり上げることができます。

平成29年度にプログラムをリニューアルし、ダンス事業実施のビジョンに基づいてA・B・Cの3つのプログラムを、年度ごと段階的に選択して継続的に事業を実施することが可能になりました。さらに、当財団が負担する経費を増額し、より取り組みやすくなっています。なお、これまでにダン活を実施した団体も対象となります。

詳細は、実施要綱と同封のチラシをご参照ください。

また、関心のあるホール等の皆様には資料をお送りしますので、お問い合わせください。

皆様のご応募をお待ちしています。

募集締切：平成29年6月2日（金）必着

◎Aプログラム（地域交流プログラム）

原則として、4日間で学校や福祉施設等でのアウトリーチ、公募型ワークショップを4～5回実施するプログラムです。

◎Bプログラム（市民参加作品創作プログラム）

原則として、4日間＋5日間で市民参加作品を創作し、有料で公演を実施するプログラムです。また、併せて公募型ワークショップを1回実施します。

◎Cプログラム（公演プログラム）

原則として、4日間で登録アーティストのレパートリー作品の有料公演を実施するプログラムです。また、併せて公募型ワークショップを1回実施します。

平成30年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」プログラム概要

	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
対象団体	地方公共団体、指定管理者、公益財団法人　等		
事業日程	4日間	4日間＋5日間 （7泊9日以内の事業日程）	4日間
事業内容	①アウトリーチ(3回以上) ②公募型ワークショップ(1回以上) ①②を合わせて4～5回	①公募型ワークショップ(1回) ②市民参加作品の有料公演(1回) ※クリエーションワークショップを重ねて作品を創作します。	①公募型ワークショップ(1回) ②アーティストのレパートリー作品の有料公演(1回)
経費負担支援内容	•アーティストの派遣経費（出演料等、交通費、宿泊費、日当、損害保険料） •コーディネーターの派遣 •全体研修会（事業実施に必要なノウハウ等の研修）の開催		
		•公演負担金として、実施団体が支出した事業実施に係る対象経費の2/3以内（上限50万円）を負担	

●事業実施要綱および事業申込書等は、当財団ウェブサイトに掲載しています。
http://www.jafra.or.jp/j/guide/box/

●「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」に関する問い合わせ
芸術環境部　栗林・鈴江
Tel. 03-5573-4055・4077
dankatsu@jafra.or.jp

平成30・31年度
公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）登録アーティストのご紹介（50音順、ソロ・デュオの順）

●北尾亘（きたお・わたる）

幼少よりクラシックバレエからストリートダンスまで幅広く経験。桜美林大学にて木佐貫邦子に師事。2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げ。土着的な圧倒的群舞とお芝居の要素を持ち味に注目を集める。10回の単独公演のほか、劇場から屋外まで多数フェスティバルに参加。近藤良平・杉原邦生・山本卓卓作品等に多数出演。近年では舞台・CM・映画での作品の振付、ワークショップやレッスン講師なども積極的に行う。トヨタコレオグラフィーアワード2012「オーディエンス賞」、第3回エルスール財団新人賞〈コンテンポラリー部門〉を受賞。急な坂スタジオサポートアーティスト、尚美学園大学非常勤講師。
http://dd-baobab-bb.boo.jp/

©Masakazu Yoshikawa

●田畑真希（たばた・まき）

タバマ企画主宰。3歳からクラシックバレエを始める。高校生の頃、トゥシューズを履いて踊ることに疑問を感じ、さらなる表現を追及するため桐朋学園短期大学演劇科に入学。演技・日舞・狂言・アクロバット等さまざまな表現を学ぶ。紆余曲折を経て再びダンスの世界へ。2007年より振付家としての活動を始める。滑稽なまでに紡ぐ作風には定評があり、国内外で精力的に活動中。横浜ダンスコレクションR2009にて「未来に羽ばたく横浜賞」「マスダンザ賞」をダブル受賞。

©松本和幸

●長井江里奈（ながい・えりな）

舞台芸術集団「山猫団」主宰・演出家。「伊藤キム+輝く未来」、「まことクラヴ」にてダンサーとして国内外のさまざまな劇場、ライブハウスや商店街、美術館などありとあらゆる場所でパフォーマンスを行う。2013年にダンサー、音楽家、絵描き、造形作家、デザイナーなどさまざまなジャンルから成る「山猫団」を設立。ステージ・客席を含めた空間美術から、イラスト・ダンス・音楽・芝居まですべて自家製で、「扉の向こう」に幻の時間と空間を作り出す。また日本各地でワークショップなどの普及活動も積極的に行う。普段は地味。

©小林智之

●東野祥子（ひがしの・ようこ）

ANTIBODIES Collective振付家・ダンサー。10歳からダンスを始める。2000～14年「Dance Company BABY-Q」を主宰。国内外の劇場やフェスティバルにて舞台作品を数々発表。ミュージシャンと即興セッションを多方面で展開する。トヨタコレオグラフィーアワード、横浜ソロ×デュオ〈Competition〉+などで大賞を受賞。2015年、京都に活動拠点を移し、「ANTIBODIES Collective」を音楽家のカジワラトシオと結成。多ジャンルのアーティストと共に大掛かりな舞台作品制作やパフォーマンス、インスタレーションなど全国並びに海外にて他数実践している。またダンサー育成のワークショップや学校へのアウトリーチなども精力的に展開し、地域の活性化に根ざした活動を実践している。

©FUZZY

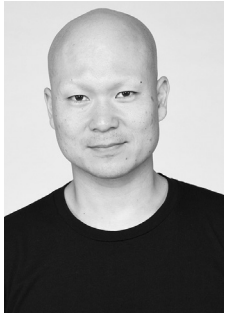
●鈴木ユキオ（すずき・ゆきお）

世界40都市を超える地域で活動を展開し、しなやかで繊細に、且つ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。2008年に「トヨタコレオグラフィーアワード」にて「次代を担う振付家賞（グランプリ）」を受賞。2012年フランス・パリ市立劇場「Danse Elargie」では10組のファイナリストに選ばれた。また、国内外の学校や養護施設でのワークショップや、障害のある人も含めたダンスカンパニーでの創作活動なども行い、丁寧に身体を意識し、自分のダンスを楽しむきっかけを提案している。

©Teppei Hori

●田村一行（たむら・いっこう）

1998年大駱駝艦に入艦。舞踏家・俳優である麿赤兒に師事。2002年より自らの振付・演出作品の創作を開始。緻密な振付で構成する作品は、新たな舞踏の可能性を示し注目されている。2008年文化庁新進芸術家海外留学制度により、フランスへ留学。小野寺修二、宮本亜門、白井晃、渡辺えり、笠井叡、ジョセフ・ナジの舞台など客演も多数。舞踏の特性を活かしたワークショップやインリーチは、各分野のアーティストのみならず、子どもから高齢者まで幅広く好評を得ている。第34回舞踊批評家協会賞新人賞受賞。



●中村蓉（なかむら・よう）

早稲田大学モダンダンスクラブにてコンテンポラリーダンスを始める。2009年より小野寺修二、近藤良平、室伏鴻の振付作品に出演、アシスタントを務める。2010年より自身の作品を創り始め、踊る身体を媒介に、音楽・言葉・物語・小道具を総動員してひとつの世界を創り上げる。ルーマニア・シビウ国際演劇祭、イギリス ナショナル・シアター・ウェールズでのレジデンスなど国内外で活動中。横浜ダンスコレクションEX2013「審査員賞」「シビウ国際演劇祭賞」、第5回エルスール財団新人賞〈コンテンポラリーダンス部門〉などを受賞。

©前澤秀登

●セレノグラフィカ
［隅地茉歩（すみじ・まほ）＋阿比留修一（あびる・しゅういち）］

関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開する男女2人組のダンスカンパニー。多様な解釈を誘発する不思議で愉快な作風と、緻密な身体操作から繰り出されるダンスで、多くの観客を魅了している。2005年に隅地がTOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD「次代を担う振付家賞（グランプリ）」を受賞。公演・ワークショップ・セミナーなど、ダンスと旺盛に関わり、全国各地を駆け巡りながら「身体と心に届くダンス」を伝える日々を送る。350を超える教育機関へのアウトリーチも行い、あびちゃん・まほさんとして人気。

©平野愛

地域通信

●データの見方
情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック
[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先
ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060　Tel. 03-5573-4066
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当　宇野・高澤

●2017年7月号情報締切
5月30日(火)

●2017年7月号掲載対象情報
2017年7月～9月に開催もしくは募集されるもの

地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」掲載情報募集中
当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。
◎公共ホール等の求人情報
◎公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報
掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。　http://www.jafra.or.jp/

北海道・東北

●北海道共和町

西村計雄記念美術館
〒048-2202　岩内郡共和町南幌似143-2
Tel. 0135-71-2525　磯崎亜矢子
http://www.musee-nishimura.jp/

おやこで楽しむ展覧会 なつかしい農村のくらし

共和町とゆかりの深い画家・西村計雄や山岸正巳、写真家の前川茂利らが、農村ならではのこの地の風景や習俗を記録した作品66点を展示。懐かしいのどかな田園風景や人馬一体となった農耕風景を通して、当時の暮らしぶりや農作業などに対する世代を超えた会話を導く。
[日程]3月16日～7月9日
[会場]西村計雄記念美術館

前川茂利《若草の上で仔山羊戯むる》(1966年)

●宮城県塩竈市

塩竈市杉村惇美術館
〒985-0052　塩竈市本町8-1
Tel. 022-362-2555　阿部沙斗加
http://sugimurajun.shiomo.jp/

まちと 記憶と 映画館 ～団らんのひととき編～

まちの昭和30年代の記憶を集めながら、当時の映画館のような文化的な団らんと交流の場をつくるプログラム。今回は、昭和の懐かしい町並み写真と映画の思い出に焦点を当て、昭和時代の塩竈の記憶を鮮やかに蘇らせる。写真約140点を展示するほか、映画音楽やうたごえ喫茶、「映画と珈琲とデッサン会」「シネマ談話室」など、市民が交流しながら楽しめるプログラムが多数展開される。
[日程]4月29日～6月25日
[会場]塩竈市杉村惇美術館

昭和30年代の塩竈市(佐々木昇悦氏提供)

●秋田県秋田市

平野政吉美術財団
〒010-0001　秋田市中通1-4-2
Tel. 018-853-8686　原田久美子
http://www.akita-museum-of-art.jp/

平野政吉の夢 ～壁画80年 コレクション公開50年～

秋田市の商人町で米穀商を営み、県内有数の資産家でもあった平野家の3代目でもある平野政吉は、生涯を賭けて美術品を蒐集した。藤田嗣治との交流が深かった平野は、藤田の妻・マドレーヌの急逝にともない、その鎮魂のために美術館の建設を構想。藤田作品を多数購入するも、戦時下において美術館の設立は中止されたが、1967年5月の同館開館により、平野政吉コレクションを展観する夢が実現された。コレクション公開から50周年、藤田による壁画《秋田の行事》完成から80周年にあたり、藤田との交流を物語る資料とともにコレクションの形成と公開の経過を紹介する。
[日程]4月22日～7月6日
[会場]秋田県立美術館

●山形県米沢市

米沢上杉文化振興財団
〒992-0052　米沢市丸の内1-2-1
Tel. 0238-26-2666　安部理絵
http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/hall.htm

よねざわ市民ミュージカル『梵天丸』

米沢市で生まれ育った伊達政宗生誕450年となる今年、政宗のエピソードを元に、ミュージカル作家の梶賀千鶴子と、作曲家の上田亨のコンビによるオリジナルミュージカルを制作。米沢市民と近隣在住者で平成21年に結成されたよねざわ市民ミュージカル「伝国座」を中心に仙台から選抜されたミュージカル俳優が出演。
[日程]5月20日、21日
[会場]置賜文化ホール

よねざわ市民ミュージカル『Faith』(2013年)

関東

●さいたま市

プラザノース
〒331-0812　さいたま市北区宮原町1-852-1
Tel. 048-653-9255　安藤肇
http://www.plazanorth.jp/

ノースであそぼう！ あーとひろばの日2017

今年で開催6回目となる、家族みんなで楽しめる地元と協働で行う体験参加型のアートイベント。音楽・ダンス・創作体験や展覧会、オープンアトリエなどのほか、今回はオープニングコンサートやスタンプラリー、デジタルアート体験が新たにプログラムに加わる。「わっしょいパレード2017」では、今年もブラック・ボトム・ブラス・バンドと植竹中学校の吹奏楽部が登場し、一週間を締めくくる。
[日程]5月13日～5月21日
[会場]プラザノース

▼—今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

●東京都八王子市

八王子市学園都市文化ふれあい財団

〒192-0066 八王子市本町24-1

Tel. 042-621-3005　木村美紀子

http://www.hachiojibunka.or.jp/

八王子大音楽祭2017

八王子市の市制100周年を記念し、今年は八王子「大」音楽祭と称して開催。公募オーディションにより結成された市民合唱で上演するオペラ『アイーダ』(指揮：川瀬賢太郎、演出：岩田達宗、管弦楽：東京交響楽団)や、南大沢オヤジバンドフェスティバル、ウェールズ弦楽四重奏団など、多彩なラインナップを1カ月にわたり市内各所で実施。

[日程]4月21日～5月21日

[会場]八王子市芸術文化会館、南大沢文化会館、オリンパスホール八王子ほか市内各所

昨年度の市民による屋外演奏の様子

●横浜市

横浜みなとみらいホール(横浜市芸術文化振興財団)

〒220-0012　横浜市西区みなとみらい2-3-6

Tel. 045-682-2020　菊地健一

http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php

こどもの日コンサート2017

毎年恒例の子どものためのコンサート。今年はNHK「おかあさんといっしょ」10代目歌のお兄さんの今井ゆうぞうが登場し、100人を超える児童合唱団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団が共演。また、1日2回公演の2回目では、楽器を持参した子どもたちがステージ上でオーケストラと演奏する。指揮の岩村力の解説で、オーケストラの響きの秘密も伝える。

[日程]5月5日

[会場]横浜みなとみらいホール

●神奈川県茅ヶ崎市

茅ヶ崎市美術館

〒253-0053　茅ヶ崎市東海岸北1-4-45

Tel. 0467-88-1177　藤川悠

http://www.chigasaki-museum.jp/

自転車の世紀—誕生から200年、新たな自転車の100年が始まる—

明治時代に日本最古といわれる自転車レースのコースとされ、現在は「人と環境にやさしい自転車のまち」を将来像として掲げる茅ヶ崎市において、自転車を歴史・競技・生活・芸術、そして未来の姿などさまざまな側面から紹介する展覧会を開催。誕生からまもなく200年となる自転車と社会との密接な関わりを紐解いていく。

[日程]4月9日～6月4日

[会場]茅ヶ崎市美術館

《オーディナリー》(1884年頃／自転車博物館サイクルセンター所蔵)

北陸・中部

●石川県金沢市

石川県立美術館

〒920-0963　金沢市出羽町2-1

Tel. 076-231-7580　村瀬博春

http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/

石川県文化財保存修復工房設立20周年記念　よみがえった文化財—加賀藩による文化財修復の歴史と石川県文化財保存修復工房のわざ—

石川県文化財保存修復工房は石川県立美術館の付属施設として開設され、今年開設20周年を迎える。本展では、加賀藩主・前田家の制作によるユネスコ世界記憶遺産・国宝「東寺百合文書」や重文「一遍上人絵巻」を特別公開するほか、約70件の作品の修復過程を紹介しながら展示。石川の文化風土を再認識するとともに、文化財の保存・修復の現状と今後の展望を考察する。

[日程]4月22日～5月28日

[会場]石川県立美術館

●長野県軽井沢町

軽井沢大賀ホール

〒389-0104　北佐久郡軽井沢町軽井沢東28-4

Tel. 0267-42-0055　田中彩子

http://www.ohgahall.or.jp/

軽井沢大賀ホール 2017 春の音楽祭—音楽祭で始まる軽井沢の春—

2005年の開館時から毎年開催している音楽祭。気鋭の若手音楽家で特別に編成された「軽井沢チェンバーオーケストラ」をはじめ、ウィーン少年合唱団や宮田大チェロ・リサイタル、東京フィルハーモニー交響楽団(指揮：三ツ橋敬子、ピアノ：阪田知樹)など、豪華なラインナップで幅広いジャンルのクラシック音楽が楽しめる。

[日程]4月29日～5月7日

[会場]軽井沢大賀ホール

昨年の様子(軽井沢チェンバーオーケストラ)

●長野県飯田市

オーケストラと友に音楽祭実行委員会

〒395-0051　飯田市高羽町5-5-1(飯田文化会館内)

Tel. 0265-23-3552　中島弘貴

http://www.iida-oketomo.com/

オーケストラと友に音楽祭2017

市民による実行委員会が名古屋フィルハーモニー交響楽団と一緒になって企画する音楽祭。地元音楽団体企画のコンサートや、名古屋フィルによる未就学児も入場可能なコンサートをはじめ、地域へ小編成のアンサンブルを出前する「コミュニティーコンサート」など、多彩なプログラムを展開。地元演奏家の育成を目的とした音楽クリニックでは、中学・高校生の受講生らによる成果披露のコンサートも行われる。

[日程]5月3日～6日

[会場]飯田文化会館、飯田人形劇場 ほか

小学生対象の楽器体験コーナー

●長野県松本市

松本市美術館

〒390-0811　松本市中央4-2-22

Tel. 0263-39-7400　武藤美紀

http://matsumoto-artmuse.jp/

堤清二　セゾン文化、という革命をおこした男。

1970～80年代のセゾングループの黄金期を築いた堤清二(1927～2013)に焦点を当てた展覧会。美術館やホールを開設し、現代美術や現代音楽、舞台芸術を積極的に紹介するなど新感覚のブランド路線を展開したセゾン文化の足跡をたどる。また、松本市美術館の顧問を務めた堤が、辻井喬の名で自主企画展のために書き下ろした詩な

ど、詩人としての側面も紹介。
［日程］4月21日～6月11日
［会場］松本市美術館

●岐阜県岐阜市

清流の国ぎふ芸術祭Art Award IN THE CUBE実行委員会
〒500-8570　岐阜市薮田南2-1-1（岐阜県環境生活部県民文化局文化創造課内）
Tel. 058-272-8378　鳥羽・田中
http://art-award-gifu.jp/

清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017

幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6mの大型キューブを無限の小宇宙に見立てて美術館内に複数設置し、手法・素材・技法を問わず公募した作品を展示する。第1回のテーマは「身体（しんたい）のゆくえ」とし、想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的として開催する。参加作家は佐藤雅晴、堀川すなお、水無瀬翔ほか。
［日程］4月15日～6月11日
［会場］岐阜県美術館

●静岡市

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
〒422-8005　静岡市駿河区池田79-4
Tel. 054-203-5714　渡邊麻恵
http://www.granship.or.jp/

グランシップこどものくに ～ふしぎなかたちたち！～

ゴールデンウィーク期間中、未就学児が家族と一緒に楽しむ参加型イベント。「かたち」をテーマに、ワークショップや手づくりの遊びが体験できる。目の錯覚を取り入れた部屋や、粘土を使用した遊びのコーナー、動物やお姫様に変身できる「ゆめのおきがえ」や、思い切り身体を動かす「からだあそび」コーナーも楽しめる。
［日程］5月4日～7日
［会場］静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

昨年の様子

●静岡市

静岡音楽館AOI
〒420-0851　静岡市葵区黒金町1-9
Tel. 054-251-2200　小林旬
http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp/

静岡音楽館AOI×SPAC–静岡県舞台芸術センター共同事業『1940—リヒャルト・シュトラウスの家—』

静岡音楽館AOI芸術監督の野平一郎とSPAC芸術監督・宮城聰がタッグを組み、構想に5年を費やした音楽劇。オリンピックや東京万博が予定されていた1940年、リヒャルト・シュトラウスが皇紀2600年祝賀行事に奉祝曲を寄せた真相を探るドラマを、同時代の名曲の数々と、史実と想像を交えた歴史劇とで紡いでいく。関連企画として、同日に「演出家・作曲家の視点から」と題した講演会も開催される。「ふじのくに⇄せかい演劇祭2017」連携プログラム。
［日程］4月29日
［会場］静岡音楽館AOI

●愛知県豊橋市

三河市民オペラ制作委員会
〒440-8516　豊橋市南牛川2-1-11（学校法人桜丘学園事務局内）
Tel. 0532-61-6421　石黒貴也
http://www.mikawa-opera.jp/

第4回三河市民オペラ『イル・トロヴァトーレ』

市民主体により質の高いオペラを制作し、2005年から開催しているオペラ公演第4弾。指揮に園田隆一郎、演出に高岸末朝を迎え、公開オーディションによって選ばれた国内トップクラスのソリストが、地元市民合唱団と共演する。オペラの楽しさ、面白さを市民に浸透させるための取り組みとして、オペラセミナーの開催、プレイベント等も実施している。
［日程］5月6日、7日
［会場］アイプラザ豊橋

近畿

●滋賀県守山市ほか

守山市教育委員会
〒524-8585　守山市吉身2-5-22
Tel. 077-582-1169　木塚正子
http://moriyamabuntai.com/luciole/

ルシオール アート キッズ フェスティバル2017

ラ・フォル・ジュルネびわ湖2017（P.15参照）の関連イベントとして開催するプログラム。市内6中学校の吹奏楽部と龍谷大学吹奏楽部とのコラボステージのほか、市内6会場での無料のクラシックコンサート、ワークショップ、軽音楽ステージなど、大人も子どもも楽しめるプログラムが市内各所で展開される。
［日程］5月14日
［会場］守山市民ホール、佐川美術館ほか

昨年のキオスクコンサート（佐川美術館）

●京都市

京都芸術センター
〒604-8156　京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
Tel. 075-213-1000　谷竜一
http://www.kac.or.jp/events/20699/

京都国際ダンスワークショップフェスティバル2017

1996年から毎年開催しているコンテンポラリーダンスのワークショップ・フェスティバル。今年は、世界各国から11名の講師を迎え、ダンス初心者と未経験者、大人と子どもが共に受けられるクラス、多くのダンスを学びたい人を受け入れるクラス、アドバンス向けにより専門的に学ぶクラスなど、レベルや目的に合わせてクラスを編成し、海外での活躍を目指すダンサーから初心者向けのビギナークラスコースまで多彩なプログラムを実施する。
［日程］4月14日～5月7日
［会場］京都芸術センター

●神戸市

神戸市市民参画推進局文化交流部文化交流課
〒650-8570　神戸市中央区加納町6-5-1
Tel. 078-322-6598　岡邦彦
http://www.kobekiff.jp/

神戸国際フルート音楽祭

神戸開港150年の今年、神戸で活躍している音楽家・市民団体等が主体となり、企画検討会議を開いて新たな音楽祭を開催。「神戸国際ちくわ笛音楽祭」や路上での300人のフルート大演奏会「フルート300人アンサンブル」など、教会や酒蔵など神戸らしい施設や、神戸のまちなかなど、さまざまな場所を会場に120を超えるコンサートや市民参加型のワークショップなどが実施される。5月25日～6月4日には若手フルート奏者の登竜

「まちなかコンサート」の様子（そごう神戸店、森田侑里奈・森智香）

門「第9回神戸国際フルートコンクール」も開催。
[日程]3月18日～6月11日
[会場]神戸文化ホールほか市内各所

中国・四国

●鳥取県米子市
とりアートダンスプロジェクト公演実行委員会
〒683-0804　米子市米原9-8-1(ダンススタジオジャム内)
Tel. 0859-35-2615　目次裕子
http://www.artsfriend.com/

第15回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2017 ダンスプロジェクト公演『磨公部主(マクベス)』

平成15年から開催されている「鳥取県総合芸術文化祭・とりアート」のメイン事業として行われる創作舞台。シェイクスピアの『マクベス』をわかりやすく再構成し、公募による地元のダンサーたちが、ジャズダンスやヒップホップ、クラシックバレエなどの洋舞を中心に、和太鼓とプロジェクションマッピングを演出に取り入れた演劇的ダンスを披露する。
[日程]5月7日
[会場]米子コンベンションセンター

●香川県高松市
高松市文化芸術財団
〒760-0019　高松市サンポート2-1
Tel. 087-825-5010　堀有紀子
http://www.sunport-hall.jp/

こどもの日のこどものためのコンサート

文化庁「親子で歌いつごう 日本の歌百選」に選定された美しい日本の曲を、世代を超えて子どもたちと楽しむコンサート。第1部では公募で集まった家族8組がステージを彩る演出もつくり上げ、日本の歌百選のお気に入りの1曲を歌う。第2部では会場の観客と一緒にアンサンブルの生演奏に合わせて8曲を合唱する。
[日程]5月5日
[会場]高松市文化芸術ホール(サンポートホール高松)

九州・沖縄

●宮崎県三股町
三股町立文化会館
〒889-1901　北諸県郡三股町大字樺山3404-2
Tel. 0986-51-3462　濱砂崇浩
http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/

みまた演劇フェスティバル『まちドラ！2017』

三股のまちを歩きながらドラマを観劇できるという演劇フェスティバル。2011年の三股町立文化会館10周年記念町民参加舞台『おはよう、わが町』をきっかけに翌年からスタートし、今年で6年目。三股町で生まれた作品をベースに、公募で集まった町民、九州で活躍する劇団や演出家がつくり上げた演劇作品が上演される。
[日程]5月26日～28日
[会場]三股町立文化会館ほか町内各所

●鹿児島県鹿児島市
鹿児島県文化振興財団
〒892-0816　鹿児島市山下町5-3
Tel. 099-223-4221　竹下陽子
http://www.houzanhall.com/

ちびっ子集まれ！クラシックっていいな～ ファミリーコンサート

子どもと一緒にコンサートを楽しみたいという要望に応えた、0歳児から入場できるコンサート。鹿児島県文化振興財団の「アーティストバンク」登録アーティストを中心に編成された宝山室内アンサンブルがクラシックからポップスまで、さまざまなメロディーを奏でる。開場前・休憩中には地元高校吹奏楽部によるマーチングバンド演奏も実施される。
[日程]5月20日
[会場]宝山ホール

トピックス

ラ・フォル・ジュルネ2017が開幕

1995年にフランス西部の港町ナントで誕生したクラシック音楽祭。2005年から東京、10年には新潟や滋賀など日本国内でも多数開催されて、ゴールデンウィークの風物詩となっている。今回はテーマを「ラ・ダンス 舞曲の祭典」とし、ダンスと音楽の密接な関係をたどる。
東京では民俗舞曲に触発された国民楽派の傑作、19世紀から20世紀初頭またルネサンス時代のバレエ音楽、ジャズやラテン音楽などウラル・フィルハーモニー管弦楽団、テディ・パパヴラミ(Vn)、マルク・ラフォレ(Pf)ら40団体・約1,900名(無料公演含む)のアーティストを迎え、3日間に122公演を開催。親子でも楽しめるプログラムも多数有り。新潟では燕喜館や能楽堂でも開催。ジュリアン・マルティノー・トリオ(三重奏)やアルタンゲレル・デルゲルマー(馬頭琴)らが出演する。滋賀では、マーチングや吹奏楽の全国大会常連校をはじめとする高校生が登場。書道と音楽のコラボレーション企画や好評の「湖上公演」(ミシガン船)が今年も開催される。
[開催地(主会場)・日程・問い合わせ]
•東京(東京国際フォーラムほか)
5月4日～6日
Tel. 03-5221-9100
http://www.lfj.jp/lfj_2017/
•新潟市(りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館ほか)
4月28日～30日
Tel. 025-226-2563
http://lfjn.jp/
•滋賀県大津市(滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールほか)
4月28日～30日
Tel. 077-523-7136
http://lfjb2017.biwako-hall.or.jp/

神奈川県の3施設で「オープンシアター 2017」開催

神奈川芸術文化財団が運営する3つの施設で同時開催される体験プログラム。神奈川県民ホールでは松山バレエ団による『くるみ割り人形』スペシャルハイライトやオルガン公演、KAAT神奈川芸術劇場では中スタジオを中心に平面や彫刻作品を展示する「詩情の森　語りかたられる空間」とトーク、パフォーマンス、ワークショップなど、神奈川県立音楽堂では「音楽堂で音・体験♪建築・探検！」として、日本を代表する近代建築(前川國男設計)でもある音楽堂の建物を探るスタンプラリーなどが行われ、いつもと違う劇場・ホールの魅力にふれることができる。
[日程]公演、ワークショップ等:5月27日、28日／展覧会:4月30日～5月28日
[会場・問い合わせ]
•神奈川県民ホール
Tel. 045-662-5901
•KAAT神奈川芸術劇場
Tel. 045-633-6500
•神奈川県立音楽堂
Tel. 045-263-2567
http://www.kanagawa-arts.or.jp/open2017

夏休み子ども企画／フェスティバル情報求む！

7月号(6月25日発行予定)では恒例の「夏休み子ども企画／フェスティバル特集」を予定しています。下記までどしどし情報をお寄せください。
Tel. 03-5573-4066
Fax. 03-5573-4060
letter@jafra.or.jp
締め切り:6月上旬

＊地域創造レターは再生紙を使用しています

栃木県宇都宮市

宇都宮美術館開館20周年・市制施行120周年記念
「石の街うつのみや—大谷石をめぐる近代建築と地域文化」

上：「石の街うつのみや」展示の様子。右に見えるのが旧帝国ホテル・ライト館の柱
下：シンポジウム「凝灰岩と近・現代建築——国際性と地域性」（2月26日／パネリスト：中川武、三宅正弘、藤原宏史、橋本優子）

●石の街うつのみや～大谷石をめぐる近代建築と地域文化
[会期] 2017年1月8日～3月5日
[会場] 宇都宮美術館
[主催] 宇都宮美術館、下野新聞社
[特別協力] 大谷石材協同組合、大谷石内外装材協同組合、大谷石研究会、大谷石産業
[協力] 宇都宮大学農学部地質学研究室
[後援] 宇都宮商工会議所、宇都宮まちづくり推進機構
※まち歩きワークショップや大谷石建造物でのコンサートなど関連事業多数

＊1　20世紀建築界の巨匠、米国のフランク・ロイド・ライトが設計し、1923年完成。今日、地域で「ホテル山（岩）」と呼ばれる土地を購入し、石切職人を雇用し、自由に採石して東京に鉄道で運び、現場で細工した。

＊2　宇都宮市市制100周年を記念して1997年3月開館。「地域と美術」「生活と美術」「環境と美術」を3本柱として20世紀以降の美術とデザインをテーマに作品を収集。26ヘクタールという広大な郊外の「うつのみや文化の森公園」に立地し、岡田新一設計による建物の一部には地元の大谷石が用いられている。

＊3　美術館が中心となりデザイナー、宇都宮大学、中川染工場が協働して実施したプロジェクト（2015年4月～16年3月）。16年度グッドデザイン賞受賞。江戸時代に始まり昭和戦前に最盛期を迎えた「宮染め」（「注染」の技術を受け継いだもの）の調査と長く愛されるパターンデザインの創出に挑み、試作品を発表。

“これからの公立文化施設は地域資源にどのようにアプローチすべきか”——そのヒントになる展覧会が、開館20周年を迎えた宇都宮美術館で開催された。テーマは市北西部の大谷町一帯で採石される“大谷石”。軽く、防火性に優れ、加工しやすいことから建材として普及。フランク・ロイド・ライトが旧帝国ホテル・ライト館(＊1)で用いたことで有名になった。2月26日、展覧会「石の街うつのみや～大谷石をめぐる近代建築と地域文化」とシンポジウム「凝灰岩と近・現代建築——国際性と地域性」を取材した。

●

展覧会場を訪れると、入り口のアトリウムには、現在は明治村に中央玄関部のみが移築されているライト館の柱が展示されていた。幾何学模様の彫刻を施した大谷石などで装飾された柱からもその威風を感じることができる。展示室では、大谷石がどのような石で、どのようにして建材になり、なぜライトが使ったのか（展示室3）、どのような近代建築が残っているのか（同）、同時代の画家は石の街をどのように描いたのか（展示室2）、という地質的・産業的・建築的・美学的アプローチにより、石の街の文化が浮き彫りにされていた。

中でも面白かったのが、産業的アプローチだ。国会議事堂のために明治政府が行った全国石材調査の報告書をライトが検分したのではないか、当初は赤みがかった菩提石（ぼだいいし）が候補だった、建材として普及した背景には明治から大正にかけた輸送手段（鉄路）の整備があったことなど、まるでミステリーを読むようだった。

そもそも宇都宮美術館(＊2)は、開館当初からデザイン（生活と美術）を収集・運営方針のひとつの柱として掲げてきた。その中で地域を取り上げ、2014年に今回の展覧会に繋がる連続講座「大谷石の来し方と行方」を開催。また15年には地元の伝統的な染色「宮染め」の再生を目指し、館外プロジェクトとして「地域産業とデザイン～宮の注染を拓く」(＊3)を実施。こうした流れの中で企画されたのが、今回の展覧会だった。

事業を担当した主任学芸員の橋本優子さんは次のように話す。

「以前から“地域のデザイン”と“地域の近代建築”をテーマにした展覧会を企画したいと思っていました。これまでもライト展はありましたが、大谷石という視点で企画されたものはなかった。“デザイン”は、ただ色や形の問題ではなく、それが生まれるに至った社会情勢、素材や地域の課題と密接に関わったものです。その全体像をつかまえて、宇都宮における“地域のモダニズム”を再評価する展覧会にしたいと思いました。しかし、大谷石に関する領域横断的な文献はなかった。宇都宮空襲などにより失われた建物も多い。大谷石とライトの関係について先行研究をされていた藤本信義宇都宮大学名誉教授などに相談しながら、地質学の専門家とフィールドワークに行ったり、石工さんから採掘や加工についてヒアリングしたり、協同組合から資料をお借りしたり。皆さんの協力を仰いで何とか導入部分まで漕ぎ着けました」

近代建築の専門家が顔を揃えたシンポジウムでは、大谷石の建築事例に始まり、装飾性や質感といった特性、アートスペースとしての活用の可能性や修復の課題などについて幅広い議論が行われた。参加者のひとりは、「石の街であるためには石のことをもっと知らないといけない。宮染めもそうだが、美術館が独自の切り口で地域のことを取り上げるのは非常にいいことなので、ぜひ続けてほしい」と話していた。

80年代には大谷一帯に広がる採掘場跡の巨大な石の地下空間で山海塾や転形劇場の公演が行われ、アートスペースとして注目を集めた時期もあった。現在ではこうした地下空間が観光スポットとして再出発しているほか、NPO法人宇都宮まちづくり推進機構による調査や建築マップの作成、石蔵の活用も始まっている。また、大谷石内外装材協同組合が人材育成する大谷アカデミーも立ち上がった。昨年1月には宇都宮市長が大谷石の文化財を日本遺産登録に申請する方針を発表するなど、大谷石を核にしたまちづくりの機運が高まっている。こうした中で、美術館がどのような役割を果たせるのか。今回の展覧会はそのひとつの試金石になったのではないだろうか。　（坪池栄子）